

読書活動推進NEWS

移動図書館 あづま号巡回訪問 ～明和小・朝日公民館～

今年度最終となる福島県立図書館の移動図書館「あづま号」の南会津地区巡回訪問が11月15日(水)・16日(木)に只見町で行われ、明和小学校と朝日公民館巡回の様子を取材に伺いました。



明和小学校

【真剣に選書する児童】

明和小ではシリーズ本は1冊分のカウントです。児童の中には、「名探偵シリーズが好きなので今回は全部で12冊借りました」という強者がいました。



【早く読みたいな】

お目当ての本を手にした児童は廊下にある椅子に座り、早速本を広げ夢中で読み始めました。真剣な表情です！



【本の保管と管理】

あづま号でお借りした本は家に持ち帰らず、共有スペースに置きいつでも読めるようにしているそうです。



【公民館職員とあづま号の高橋さん】

公民館図書室には親子連れから高齢者まで幅広い年齢層の住民が訪れます。だからこそニーズに合った選書がポイントになります。



朝日公民館

【一般町民も活用】

町の広報「おしらせばん」に巡回日時を掲載したため、一般町民の姿が複数見られました。年々活用の幅は広がりが見られます。



【あづま号図書コーナー】

公民館内の一角に設置されています。今回お借りした本はこの中に納められ、多くの町民に読まれます。

「お借りした本は校内で共有して保管するので、互いに本について話題にできるよさがあります。年に2度学校を訪問するあづま号は、イベント的な要素もあり本校児童はとても楽しみにしています。」と、明和小の三瓶先生が話してくださいました。県立図書館副主任司書の高橋さんによると「只見町の小学校や公民館の皆さんは、私たちを毎回大歓迎してくださり、借りる冊数も県内トップクラスです。」とのことでした。あづま号の巡回訪問は只見町民の読書活動に大変重要な役割を果たしていると感じました。

県立図書館では学校の図書活動を支援しています！

◇「授業で使いたいけど図書室の本だけでは足りない」「1ヶ月でよいから調べ学習で貸してほしい」「〇〇関係の本を40冊程借りたい」・・・

学校で困るときはありませんか？

☆【学校図書館サポートセット貸出】

～県内小中学校対象～

☆【学校図書館活動支援貸出】

～県内高等学校・他 対象～

これらのニーズに応えてくれるかも！

※ 関連情報は次ページ、右も参照を！

